

関西大学創立 130 周年記念特別研究費（なにわ大阪研究）研究成果中間報告会

# なにわ大阪と本山彦一

## —大正期大阪への貢献と本山考古室—

大正から昭和初期、大阪毎日新聞社長・本山彦一は、新聞社経営の傍ら、考古学・人類学への興味と学会支援のために、日本各地から考古学資料を蒐集しました。本山は、自ら発掘隊を組織し、さらに好事家や新聞社からの支援や協力があって、農業博物館3階に設けられた本山考古室として結実することになりました。これらは、現在、関西大学博物館の「本山コレクション」となっています。

本山彦一は、大正期大阪の著名な財界人、言論人でしたが、啓蒙的リーダーとして大阪毎日新聞に大毎慈善団を設立し、自ら富民協会農業博物館を開設、さらに関西大学の評議員を務めるなど、広く大正期大阪に貢献したことが知られています。

特別研究「なにわ大阪と本山彦一 —大正期大阪への貢献と本山考古室—」（本山プロジェクト）は、この本山彦一という人物を、さまざまな角度から捉えたいと考え、2018年度中間報告会を開催いたします。



本山彦一 大阪毎日新聞社長

### 基調報告

「なにわ大阪と本山彦一 —大正期大阪への貢献と本山考古室—」  
関西大学博物館学芸員 山口 卓也

### セッション

「本山彦一、大阪毎日新聞、農業博物館、本山考古室、関西大学をめぐって」

本山プロジェクト 研究分担者・協力者

日時：2019年3月9日（土）13：30～15：00

会場：関西大学博物館

参加無料 直接会場にお越し下さい。

### お問い合わせ

関西大学なにわ大阪研究センター

06-6368-0095 naniwa-osaka@ml.kandai.jp

関西大学博物館

06-6368-1171 hakubutsukan@ml.kandai.jp

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

阪急千里線関大前下車 徒歩10分

